

2021年3月28日(日)午前10時30分

《受難節第6主日・棕梠の主日》

※本庄教会の礼拝では  
聖書は『新共同訳』を  
賛美歌は『讚美歌21』を  
使用しています。

前奏	
招詞	(讚美歌21: 93-1-32)
頌栄	24 (たたえよ、主の民) **
主の祈り	*下記をご覧ください。
讚美	297※1, 2のみ(栄の主イエスの) **
交読	『交読詩編』118: 19~29
信仰告白	使徒信条 *下記をご覧ください。
聖書	旧約 イザヤ書 53: 1~12 (旧約 1149 頁) 新約 マタイによる福音書 27: 32~56 (新約 57 頁)
祈り	
讚美	298※1, 2のみ(ああ主は誰がため) **
説教	『十字架への道』 牧師 足田國磨呂
祈り	
讚美	311※1, 2のみ(血しおしたたる) **
献金	
頌栄	29 (天のみ民も) **
派遣・祝祷	
報告	
後奏	**時間短縮のため、讚美歌短めとなります。

主の祈り

天にまします我らの父よ、  
ねがわくはみ名をあがめさせたまえ。  
み国を来たさせたまえ。  
みこころの天になるごとく  
地にもなさせたまえ。  
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。  
我らに罪をおかす者を 我らがゆるすごとく、  
我らの罪をもゆるしたまえ。  
我らをこころみにあわせず、  
悪より救い出したまえ。  
国とちからと栄とは  
限りなくなんじのものなればなり。  
アーメン。

使徒信条

我は天地の造り主<sup>ぬし</sup>、全能の父なる神を信ず。  
我はその独り子<sup>ひと</sup>、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府<sup>よみ</sup>にくんだり、三日目に死人のうちよりよみがへり、天に昇り<sup>のぼ</sup>、全能の父なる神の右に坐<sup>ま</sup>したまへり、かしこより来りて、生ける者と死ねる者とを審<sup>さば</sup>きたまはん。

我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交はり、罪の赦し、からだのよみがへり、とこしえのいのちを信ず。

アーメン。